

聾学校地域支援だより

地域の学校の先生方と研修を行いました

11月21日、群馬県総合教育センターにて難聴学級の担任の先生と通級指導教室の先生方との研究会がありました。お忙しい中、ご参加いただいた先生方、ありがとうございました。今回は参加された先生方が日頃行っている実践の紹介をしていただきました。子どもの実態を踏まえた手立てや取り組みを発表していただき、またそれぞれの成果や今後の課題等を共有することができ、新たな学びとなりました。



先生方の取り組みや課題

補聴器の手入れや配慮のお願いを自分でできるようになってほしい。配慮を口頭で伝えることができない場合には紙に書いて渡すなど、本人と確認しながらできることを増やしています。

補聴援助システムを使用していません。英語の授業を皮切りに補聴援助システムの使用を促していきたいと思っています。

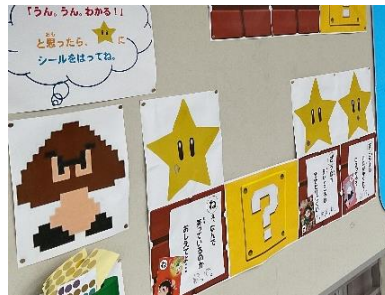
小集団での活動を通して、企画を立てたりゲームの進行役をしたりするなど集団での役割を担う経験を積んでいきました。他の子の困り感に共感する姿がみられました。

慣用句を使ったクイズ形式の動画製作をするなど、児童の興味関心のあるもので語彙を増やしています。

新年度にむけて新担任の先生への配慮のお願いを作成しています。

難聴理解授業を実施しました。聞こえについての説明書を作成し、他の児童に対象児への良いところや質問などカードに書いてもらいました。伝えることの大切さを実感しました。

聾学校で群聾祭が行われました



10月11日（土）、聾学校で群聾祭が行われました。地域支援部では、活動の様子をゲームのコントローラーの形にして展示しました。興味をもって近づいてきてくれる児童生徒が大勢いました。また難聴あるあるカルタを掲示し、来場者に「うんうん、わかる!」と共感するカルタにシールを貼ってもらいました。たくさんのシールが貼られました。群聾祭後も相談室に掲示してあり、通級や教育相談で来校した児童生徒が「そう思う」とシールを貼っていきます。

小・中学校、高等学校等サポート事業



各学校から依頼を受け、専門アドバイザーが訪問します。授業や生活の様子を参観後に先生方と話し合いをしたり職員研修の協力など行っています。

内容については聞こえの仕組みや聴覚障害、補聴機器の話などご希望に応じてお話しします。難聴理解授業や補聴器体験等も実施しています。聞こえについてだけでなく、吃音や構音など話し方についてのご相談も受けております。ご希望の際は御連絡ください。

詳しくは群馬県立聾学校聴覚障害支援センターのHPのチラシをご覧ください。

インフルエンザが流行しています。

体調が悪いときは無理をせず、過ごしてください。

また、所属学級や学年などが学級・学年閉鎖の場合は、通級・教育相談も欠席していただくようお願いいたします。

聾学校の通級や教育相談を欠席する場合は、群馬県立聾学校地域支援部までご連絡ください。

